豊田中学校　学校だより
豊田の里
令和元年５月 10 日
第　２　号
発行　豊田中学校

第一節「出会い･出発」を振り返って
～校長講話「志をもつこと」より～

令和という新しい時代が始まりました。平成と何か変わったかというと、日常は変わらないですが、新たな時代到来に期待する新鮮なわくわく感が芽生えますよね。同様に、この若葉が芽吹く５月初夏も私が好きな時節となっています。
さて、４月から早くも１ヶ月、連休で少し調子が昔に戻ってしまった人もいるかと思いますが、リスタートする気持ちで、この５月から本格的に、エンジン全開で生活していきましょう。

今日は、ながふじ学府の目標、学校教育目標にもある「志をもち、たくましく生き抜く」ということについて少しお話します。

皆さんもご存じのような、「少年よ大志を抱け」という言葉は有名ですよね。

北海道大学のクラーク博士は、教え子達に「将来の日本を背負って立つだけの志をもて」と語りました。

志とは、生きる目標、将来に対する夢や希望など、いろいろなとらえ方があります。
志を先にもって、そこに向かって頑張ることが先か、たくましく生き抜くために、志をもつのか、は意見のわかれるところかもしれませんが、志がある方が、時間や人に流されて生きるよりも、生活の充実感があるのは確かです。

また、目標を持って取り組んだとき、その目標をクリアできたときの喜びは、次のステップに対する「やればできる」という自信となることも確かです。

私たちは、こうしたちょっとしたことにも、前向きな思いをもって生活していくことで、
よりよい方向に自分を高めているのです。

４月に立てた目標をもう一度思い起こして、これからの生活につなげてください。

５ 月は、中間テストや体育大会などの大きなことが待っています。こうしたことに結果を出すためには、普段以上の強い気持ちとそれなりの準備をして臨む必要があります。

小さな志を積み重ねて、将来の大志に近づく、そんな生活を送ってもらいたいと思います。

夏に向かって吹くさわやかな上昇気流に、皆さんも乗って、より高いところへ上っていきましょう。

急に暑くなってきますので、体調管理をしっかりして、この５月を突き進みましょう。

令和元年５月８日
校長　鈴木　一啓

４月のスナップショット